



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

【感染症だより】

～インフルエンザ、感染性胃腸炎について～

3月中もインフルエンザAと胃腸炎が感染症のトップでした（感染症以外では花粉症の方が多数受診されました）。東京都感染症情報センターのデータを見ると、東京都全体でも3月からインフルエンザは減少傾向となりました。今シーズンのインフルエンザ流行はかつての猛威はなく、比較的緩やかでした。

4月は入園、入学、進級の季節で初めて集団生活となるお子さんも大勢いらっしゃると思います。集団に入れば、初めて様々な経験をするとともに、これまでに罹ったことのない様々な風邪や胃腸炎などに罹っていくこととなります。それでも、次々と風邪や胃腸炎に罹ることによって、次々と自然免疫を獲得していくこととなります。特に最初の半年はしょっちゅうお休みしなければならない状況になりますが、2～3年も経つとほとんど風邪や胃腸炎にかからなくなります。

～新型コロナウイルスについて～

文部科学省は新型コロナウイルスの5類移行後、感染した児童生徒の出席停止期間を「発症から5日間で経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで」に短縮することを発表しました。つまり、5月8日以降は季節性インフルエンザと同等の扱いとなります。5類になると、全数把握はせずに定点把握（定められた施設から週1回報告された数の集計）となります。世界的にみても新型コロナウイルスは弱毒化しました。特に免疫低下している患者さんや持病のある高齢者以外では通常の日常生活を送ることが大切です。成長発達段階にある子供にとって、マスクや行動制限による害が問題になっています。特に小さいお子さんでは、言葉の発達や表情を読み取る能力に遅れが出ることが指摘されています。マスクをしていない子供もすべての活動に参加出来る環境を大人が作ってあげましょう。

～新型コロナワクチンについて～

WHO（世界保健機関）は3月28日、新型コロナワクチン接種は60歳未満の健康な成人に対する定期接種を推奨しないと発表しました。さらに、生後6ヶ月から17歳までの健康な子供については、麻疹などの予防接種に比べ、接種の効果は遥かに小さいとしています。3月の厚労省の発表では、5月8日以降の春接種に関しては65歳未満の健康な人は接種対象外となり、基礎疾患のある方のみが対象となります。

～新型コロナワクチンの副反応について～

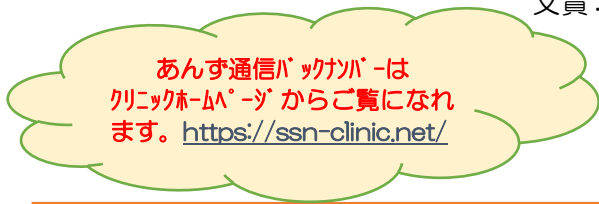
3月10日に厚労省から発表された国内の接種後副反応報告では、因果関係不明ですが接種後死亡数が累計2002名でした。令和5年4月7日までに受理された健康被害救済制度の件数は7111件にのぼっています。

表1：3月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

文責：清水マリ子

	感染症	患者数
1	インフルエンザA型	118
2	胃腸炎(106含む)	95
3	溶連菌	9
4	突発性発疹	2
4	水ぼうそう(水痘)	2
5	咽頭アデノウイルス	1
5	インフルエンザB型	1
5	RSウイルス	1
5	とびひ(伝染性膿痂疹)	1

※コロナ流行中、当院では感染症検査は防護服着用し必要最低限実施しています。



～あんずからのお知らせとお願い～

★**空き状況**をWebで確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。

★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8:30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

